

褥瘡対策委員会の活動について

皮膚科部長（褥瘡対策委員長） しょうどう まこと
初道 誠



褥瘡対策委員会の目的

褥瘡（じょくそう）は、「床ずれ」とも言います。自力で動けない状態で長い時間同じ姿勢でいることで圧迫された皮膚に血液が十分に行き届かず、組織が死んでしまう病気です。

富山労災病院では、院内に「褥瘡予防対策委員会」を作り、入院患者さんの褥瘡発生予防と褥瘡治療の活動をしております。褥瘡の発生は圧迫だけでなく、摩擦やズレ、尿便失禁、低栄養、やせ、加齢、糖尿病、高血圧、動脈硬化などの基礎疾患など様々な要因が関わってきます。そのため当院では多職種（医師、皮膚・排泄ケア認定看護師、管理栄養士、理学療法士、薬剤師など）で構成した「褥瘡ケアチーム」を中心に、褥瘡の予防、治療に対して、連携を取りながら活動しています。

褥瘡カンファレンスは、毎週1回多職種が一同に集まり、院外から入院された患者さんの褥瘡と院内で発生した褥瘡の評価、治療の方向性を話し合っています。また、褥瘡対策会議の後、褥瘡患者さんの診察も行っております。特に病状が重く自力で動けない寝たきり状態にある患者さんは、褥瘡の発生、悪化のリスクが高く注意深く対策を話し合っております。

魚津市でも、年々高齢の患者さんが増え、経口摂取が十分とれず栄養不良状態にある人が、病気にかかり自力で動けなくなり、自宅で褥瘡が発生しているケースが増えている印象もあります。寝たきりの方で、背、腰、臀部（お尻）、すね、足など圧迫部位に赤みや治りにくい傷がありましたら褥瘡かもしれません。ぜひ当院にご相談いただければと考えております。



発行：独立行政法人労働者健康安全機構 富山ろうさい病院 地域医療連携室

富山ろうさい病院だよりは、当院ホームページ（URL <https://www.toyamah.johas.go.jp/dayori/>）にも掲載しています。

【お問い合わせ先】TEL(0765)-22-1280（病院代表）

E-mail chiiki2@toyamah.johas.go.jp



バックナンバーはこちらの

QRコードからも確認できます。